

リフォームモードの計画図を既存図に読み込む方法

文書管理番号：1114-01

Q. 質問

リフォームモードの計画図に誤って既存図（リフォーム前のプラン）を入力してしまった。

A. 回答

リフォームモードの計画図には、既存図の内容を取り込む「既存図読込」や既存図を下図として読み込む「既存図下図」の各機能がありますが、既存図には計画図を読み込む機能はありません。

誤って計画図に既存図のプランを入力した場合は、「パターン登録」を使用して計画図のプランを登録し、既存図で「パターン読込」を使用して読み込みます。

操作手順

● パターン登録

① 計画図の状態ではメインメニューから (プラン図)をクリック

* 計画図のプラン図が起動します。

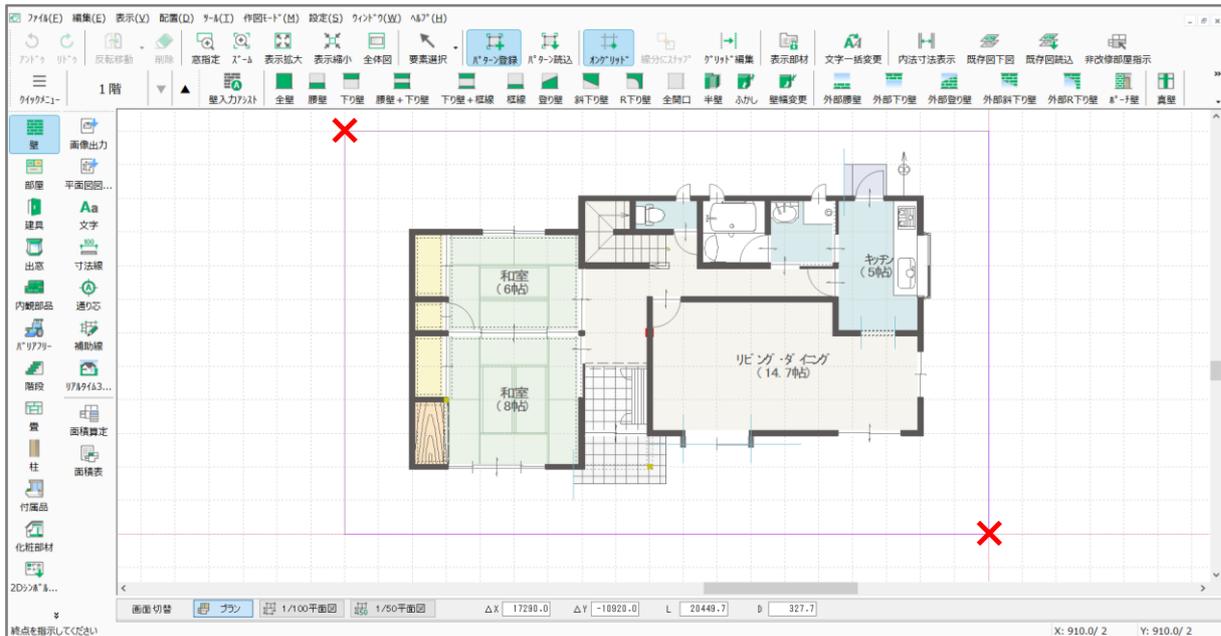


②  (パターン登録)をクリック

* 「ファイル」⇒「パターン登録」でもかまいません。

③ 登録したい範囲を矩形で選択

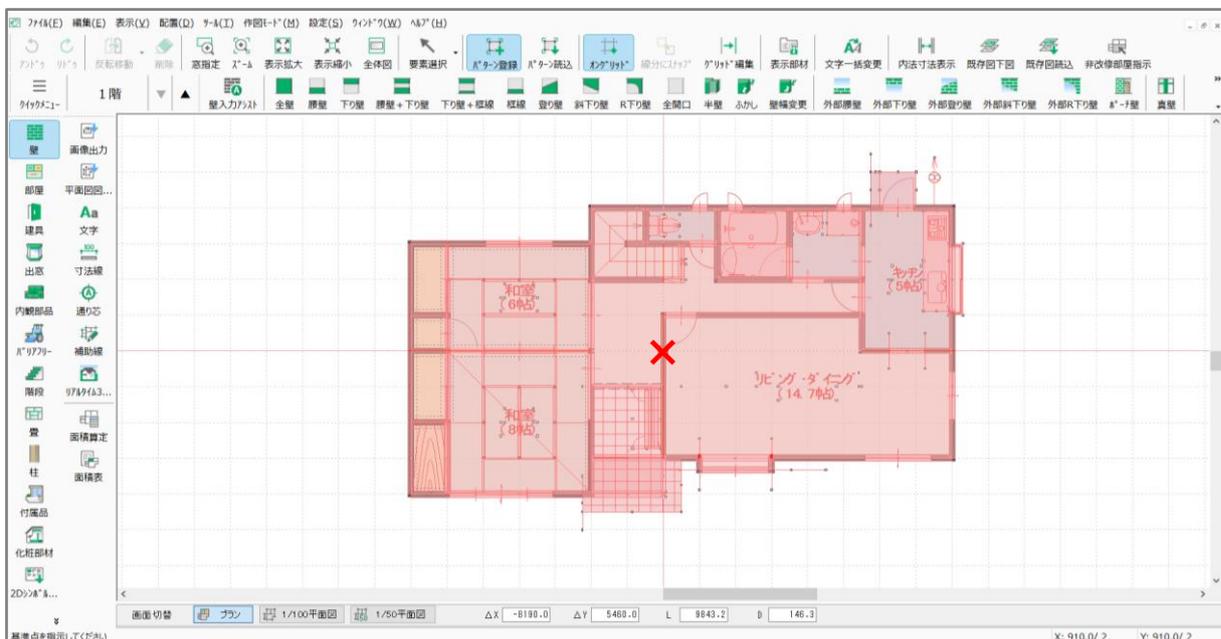
- * 間取り全体を囲むように選択します。



- * 選択範囲内にある要素が赤色になります。

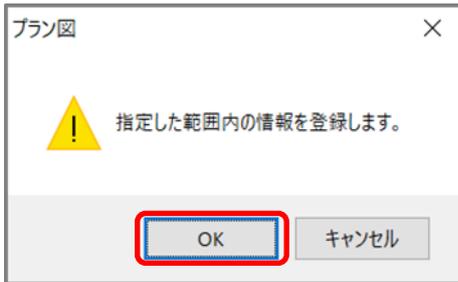
④ 基準点をクリック

- * ここでは原点（赤い点）の位置でクリックします。読込時の配置基準点（起点位置）となりますので、原点や建物の角など、上下階で統一しやすい位置で基準点を指示してください。



- * 登録確認のメッセージが表示されます。

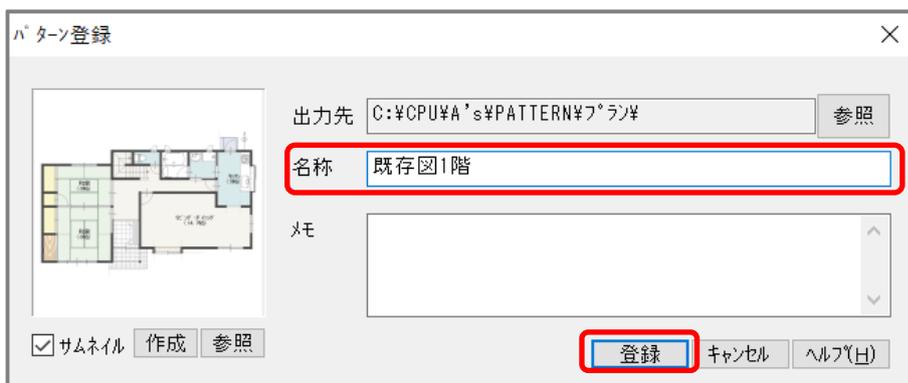
⑤ 確認メッセージの「OK」をクリック



* パターン登録画面が表示されます。

⑥ 名称を入力し「登録」をクリック

* 物件と階層が分かるような名称を入力してください。ここでは「既存図 1階」と入力します。



⑦ 他の階層も同様にパターン登録を行う

* 階層ごとにパターン登録が必要です。それぞれの階で同様の作業を行ってください。

● パターン読込

① 既存図に切り替える



* プラン図を起動したまま既存図に切り替えた場合は、既存図のプラン図が起動します。

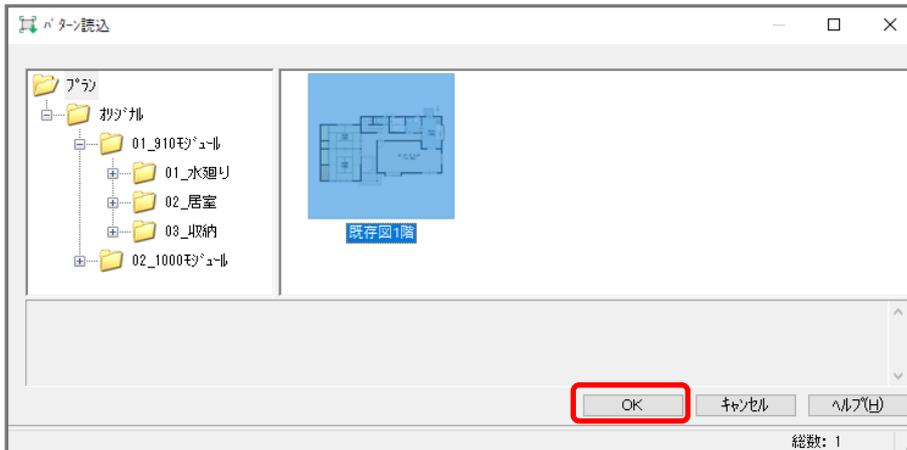
* プラン図が起動しない場合は、メインメニューから  (プラン図) をクリックしてください。

②  (パターン読込) をクリック

* 「ファイル」⇒「パターン読込」でもかまいません。

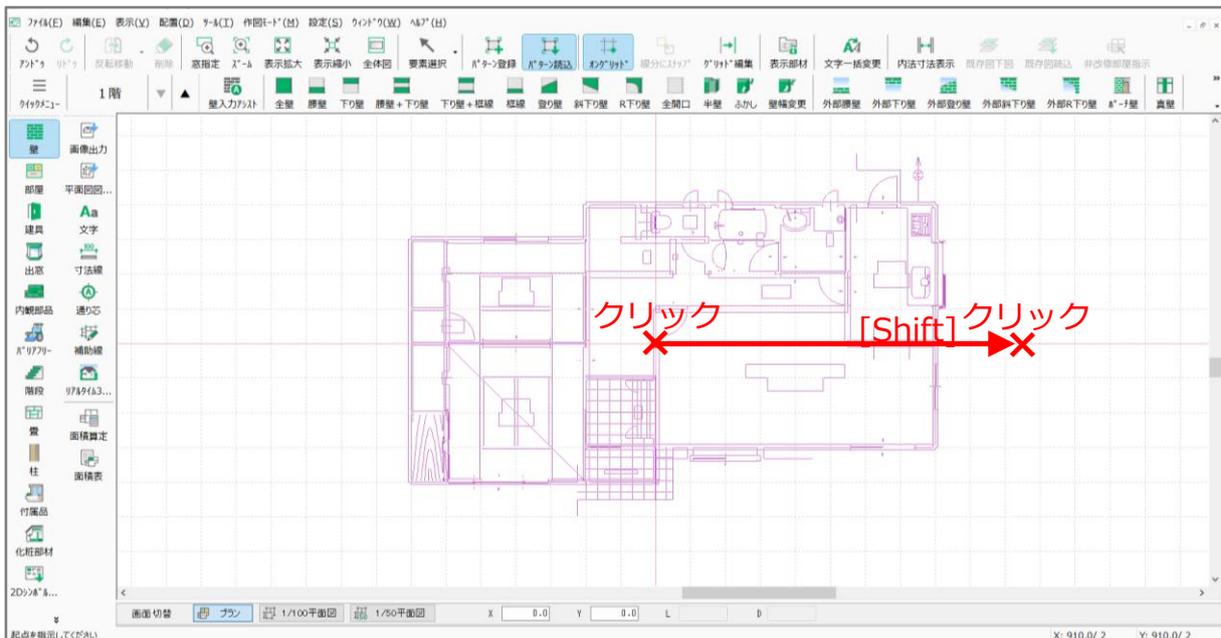
③ 読み込むパターンを選択し、「OK」をクリック

- * 計画図で登録したパターンを選択してください。



④ 配置する位置（基準点）で起点をクリックし、マウスを右方向に動かし向きを合わせてクリック

- * パターン登録時に基準点として指示した位置にマウスがスナップしています。ここでは登録時に原点位置を基準としたので、配置時も原点位置でクリックします。
- * 起点を指示後、マウスを右方向に移動すると、登録時と同じ向きになります。
- * [Shift]キーを押しながら方向を決めると、水平・垂直に配置することができます。



- * マウスの動きと間取りの描画に時間差がありますので、ゆっくりと操作を行ってください。

【注意】

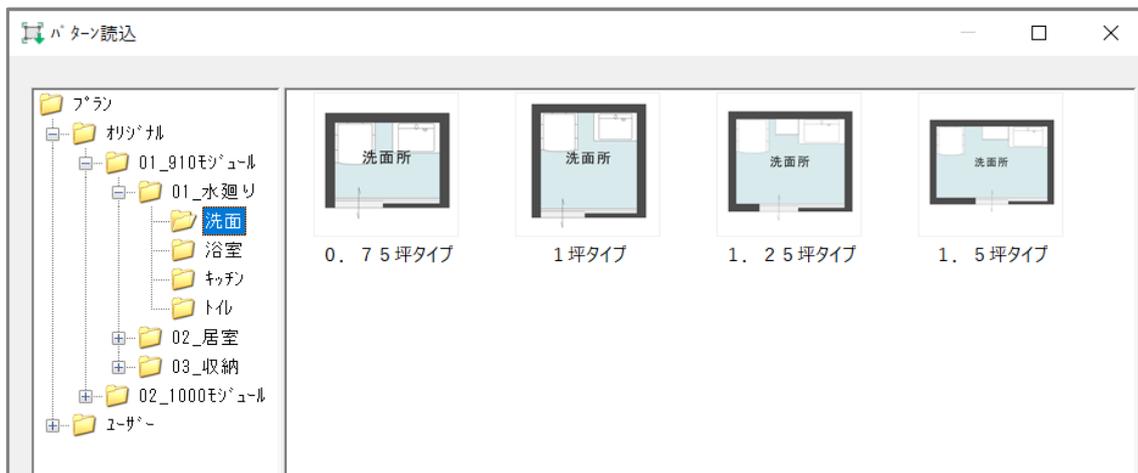
パターン登録/読込機能は、プラン図および外構図で使用できます。

- * 屋根伏図にはパターン登録/読込機能はありませんので、既存図で屋根伏図の入力が必要です。

参考：パターン登録、パターン読込の活用法

パターン登録/読込は、別のプランに間取りの一部や全体を読み込んだり、よく使用する間取りパターンを登録して使用する際に利用できます。

また、あらかじめサンプルとして、水廻り系や居室系などの部屋パターンが登録されていますので、それらを利用すると間取り入力の手間を省くことができます。



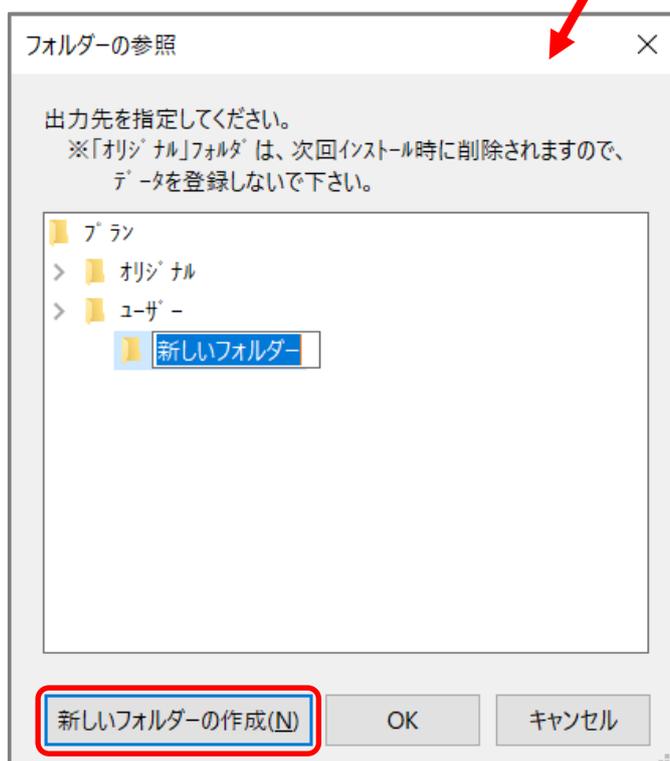
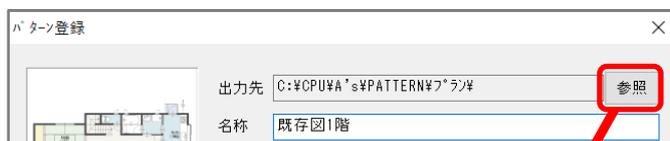
参考：パターンの登録先について

パターン登録時に保存先のフォルダーを作成・指定して、種類や目的ごとに分類し、登録できます。

出力先の右端にある「参照」をクリックすると、フォルダーの参照画面が表示されます。

「新しいフォルダーの作成」をクリックすると選択フォルダー内に新しいフォルダーを作成できます。

フォルダー名の変更も可能です。



【注意】

「オリジナル」フォルダーはインストール時に初期化され、データが削除されます。データの保存先や新規フォルダーの作成先に「オリジナル」フォルダーを指定しないでください。